



等々力球場の完成（令和2年10月）

昭和42年、等々力緑地内に建設された等々力球場は、施設の老朽化、収容人員の拡大、防球対策などが市民から指摘されており、改修等を含め、議会でも度々取り上げられていました。このような中、球場を含めた等々力緑地全体の再編整備に向けて協議・検討が重ねられ、平成28年に改築工事が着手されました。その後、廃棄物まじり土の処分、地盤の軟弱部分における強化改良など、追加対策が必要となりましたが、令和2年10月、同緑地内に新球場がリニューアルオープンしました。

<議会での審議経過と市の取り組み>

【平成14年予算審査特別委員会（3月）】

質問

川崎球場が閉鎖されて2年がたちました。この間、都市対抗の神奈川県予選を初めとする社会人野球は、収容人員の関係から県内の他の球場での開催を余儀なくされております。多くの市民の方々に応援していただくためにも、一日も早い球場の整備が望まれるところでありますが、現在の状況について伺います。

答弁

新球場の整備に関して、球場として必要な施設、建設候補地における課題の整理など、ソフト及びハード面、双方から調査を進め、できるだけ幅広い視点から検討していきます。

【平成19年第5回定例会（12月）】

質問

夏の高校野球予選では、川崎市民や学校の応援者が来場するものの、スタンドが狭いために入れなくて立ち見をしています。スタンドの増設はどのように考えているのか伺います。

答弁

スタンドの増設については、今後、等々力緑地全体のあり方を検討する中で検討していきます。

取り組みとしては・・・

多くの市民の方々に親しまれてきた川崎球場が平成12年3月に閉鎖され、当時、唯一の硬式野球場となっていた等々力球場も候補に含めた新球場の整備構想が議論されてきました。

一方、等々力球場については、収容人員等の様々な課題があり、スタンドの増設などの整備を求め、議会でも幾度も取り上げられてきました。

このような中、平成20年10月に学識者やスポーツ関係者、地域の代表者等で構成する「等々力緑地再編整備検討委員会」を設置し、等々力球場を含めた等々力緑地全体のあり方や施設の再編整備について検討していくこととしました。

請願

請願第59号 市内唯一の硬式野球場である老朽化した等々力球場の全面改修に関する請願（平成20年12月15日提出）

老朽化の著しい等々力球場の改築も含めた早急な全面改修を求めて、市民の方から市議会議長宛てに提出されました。

「請願」・「陳情」とは？

豆知識

市議会では、市政などについての意見や要望を請願、陳情のかたちで受理しています。議長は受理した請願、陳情を本会議で所管の委員会に付託します。

「請願」：賛同する市議会議員の紹介が必要で、委員会での審査の後、本会議でも諮る。

「陳情」：市議会議員の紹介を必要せず、委員会でのみ審査し、本会議には諮らない。

【平成21年環境委員会（3月）請願の審査】

主な議論

- ・ 川崎市には甲子園出場の常連校が存在するが、収容観客数が4,000人という観点などから、準決勝、決勝等の会場候補になっていないため、川崎市で決勝戦が行えるような施設整備をしてほしい。
- ・ 硬式野球場を改修する際は、市民が安全に利用できるような防球ネットの検討及び整備をしてほしい。
- ・ 等々力球場の整備を等々力緑地再編整備検討委員会の中でしっかり位置づけて進めてほしい。

請願の審査結果・・・

現在の球場は完成から40年以上経過し老朽化していることや、収容人員数等の課題もあることから、市としても請願の内容を受けとめ、等々力球場の整備を等々力緑地再編整備検討委員会の中でしっかり位置づけて進めるべきとの意見があり、請願第59号は**全会一致で採択**となりました。

【平成22年第1回定例会（3月）】

質問

等々力球場の観客収容規模についての基本的な考え方について伺います。

答弁

観客席の増設や観戦環境の改善などの要望が寄せられており、基本構想では、硬式野球が安全に行え、観戦や応援などの環境が整った施設を目指すこととしております。これらを踏まえまして、基本計画の策定に向け、機能や規模の方向性につきましても検討を進めていきます。

取り組みとしては・・・

平成22年2月に、公園全体としての施設機能の充実に向けた整備のあり方をとりまとめた「等々力緑地再編整備基本構想」が策定され、硬式野球場の整備については、施設の目標と整備内容が示されました。

その後、同年10月には等々力緑地の再編整備の方向性をとりまとめた「等々力緑地再編整備基本計画」が策定され、硬式野球場については、高校野球の予選や社会人大会の開催が可能な施設を前提として、収容人員1万人程度を目指すことが示されました。

さらに、翌23年3月には「等々力緑地再編整備実施計画」が策定され、硬式野球場をはじめとした主要施設の整備の方向と配置などについて取りまとめられました。

「実施計画」における野球場整備の主な方向については、次のとおりです。

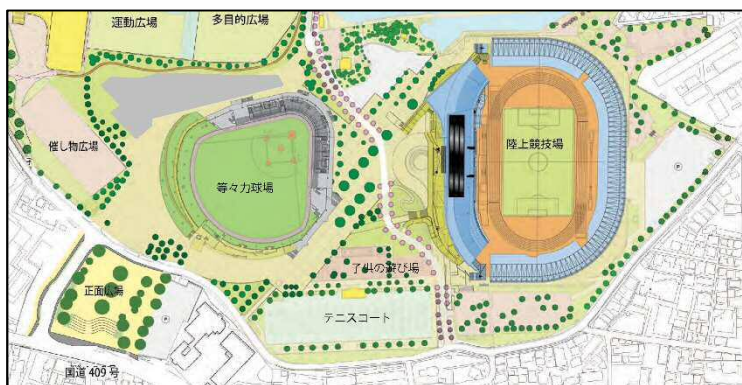
- 高校野球や社会人野球の大会開催が可能な硬式野球場として、競技や観戦が円滑かつ安全に行えるよう、施設の機能向上、競技者や大会関係者等の諸室の整備、防球対策等を進めます。
- 施設規模は、高校野球や社会人野球の大会開催が可能な施設を前提とし、収容人員1万人程度とします。
- 施設位置は、正面広場から多摩川へ続く緑の軸線を整備するため、球場周囲の歩行者の通行や待機スペース確保なども考慮しながら、南東方向へ移動します。
- 施設は、日照による守備への影響を考慮し、本塁側を北東の向きとします。
- 施設の多目的利用、集約化・複合化・立体化などをめざします。
- 備蓄倉庫やヘリポートの整備など災害時の機能導入を検討します。



従来の配置図



広報キャラクター
およよん



現在の配置図

【平成21年第4回定例会（12月）】

質問

他施設と合築した等々力球場の全面改修についての考えを伺います。

答弁

関係者と調整を図りながら施設の複合化などにつきましても検討し、整備に向けて着実な推進を図っていきます。

【平成23年第5回定例会（12月）】

質問

等々力緑地再編整備計画の整備イメージ図ではテニスコート北側に等々力いこいの家が存続しているようですが、築年数、そして今後の計画について伺います。

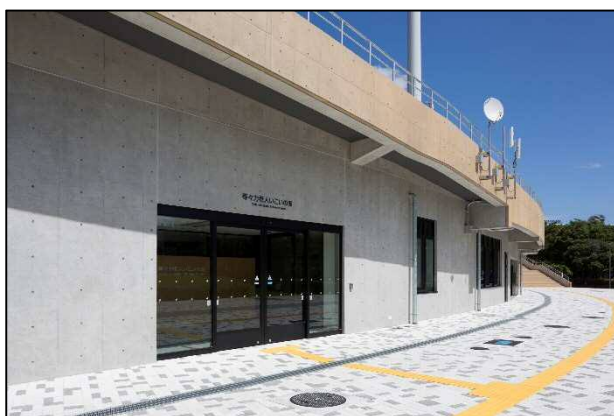
答弁

等々力いこいの家は昭和52年1月に開設し、現在築34年を経過しているところでございます。老朽化したいこいの家の対応につきましては、かわさき資産マネジメントプランの考え方を踏まえ、築年数に応じた効果的な整備手法を考慮しながら、計画的な修繕を実施してまいります。

取り組みとしては・・・

等々力緑地再編整備計画の中では、緑地内の施設の複合化により、限られた土地の有効活用を図ることとしており、老朽化が進んだ「等々力老人いこいの家」については当初、修繕の実施を検討していました。

しかし、緑地内全体のスケジュールにおいて、硬式野球場の整備が直近で予定されていること、いこいの家利用者の利便性を確保するため、現在の位置から近接に位置する場所が望ましいこと等から、平成25年3月に策定した「等々力硬式野球場整備計画」の中で、等々力球場の外野スタンド公園側へ複合化することを決定しました。



【等々力老人いこいの家 全景】



【大広間】



【クラブ室】

【平成28年第2回定例会（6月）】

質問

等々力硬式野球場の非常用発電機や電気機械室、防災備蓄倉庫等の施設が1階に設置されることになっています。しかしながら、本市洪水ハザードマップではこの地域の浸水被害想定を4～5メートルとしています。見解と対策を伺います。

答弁

等々力硬式野球場は震災時における活動拠点として利用することも想定した改築を予定しており、活動時の利便性を考慮し、電気機械室や防災備蓄倉庫等を1階に配置したものでございます。一方、この地域は多摩川の氾濫に伴う浸水被害が想定されておりますことから、非常用発電機室及び電気機械室の床全体を高くするなどの浸水対策を講じてまいります。

取り組みとしては・・・

非常用発電機室は床全体を高くし、電気室、機械室、消火ポンプ室は機器を設置する箇所において基礎を設置し、部分的に高くするなど浸水対策を講じました。



【発電機室】



【機械室】



【消火ポンプ室】

【平成28年第4回定例会（12月）】

質問

イメージアップについて、整備期間中の硬式野球場の工事用仮囲いに何か絵を張るなど市の広報をされてはいかがでしょうかと思いますが、見解を伺います。

答弁

工事用仮囲いの有効活用について、緑地周辺の学校等と連携して生徒の作品を掲示するなど、景観に配慮しながらイメージアップに取り組むとともに、市の広報利用についても検討してまいります。

取り組みとしては・・・

工事期間中は単調な現場風景となっていましたが、川崎市立宮内中学校美術部 56 名に御協力いただき、工事用仮囲いに作品を描いてもらいました。



【市立宮内中学校創立 60 周年記念作品】

作品名 「四季の風 <黒猫の散歩>

【平成29年決算審査特別委員会（9月）】

質問

6つの多目的トイレが設置される予定の等々力硬式野球場は全て同じ方向から座る設備配置となっておりました。より多くの方が使いやすい施設整備が必要だと考えますが、見解を伺います。

答弁

トイレ内の設備の配置につきましては、高齢者や障害者の方々の利用環境の向上を図るため、配置変更の可能性について関係部署等と検討してまいります。

取り組みとしては・・・

多目的トイレ内レイアウトについては、すべて同じ方向から座る設備配置となっておりましたが、より多くの方が使いやすいよう、左障害対応3箇所、右障害対応3箇所の配置に変更しました。



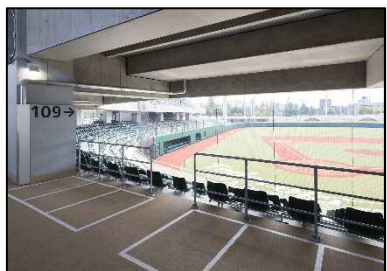
その他、新しい等々力球場の紹介・・・



【インフォメーションセンター】



【防災備蓄倉庫】



【車椅子利用席】



【リングデッキ】



等々力球場の概要

- ◆所在地 川崎市中原区等々力1番（等々力緑地内）
- ◆総工事費 約89億円
- ◆主な施設概要

| | | |
|----------|---|--|
| フィールド | 人工芝及びアンツーカ舗装、両翼100m、センター122m、面積13,616㎡ | |
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造、プレキャスト鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上3階建て | |
| 建物機能 | 観覧場、防災備蓄倉庫、インフォメーションセンター、老人いこいの家 | |
| 収容人数 | 内野スタンド 5,232人 外野スタンド 4,000人 車椅子席（内野）30席 "（外野）17席 合計 9,279人 | (旧球場)内野スタンド 3,000人 外野スタンド 1,000人 合計 4,000人 |
| 電気設備 | LEDナイター照明、フルカラーLEDスコアボード、サブスコアボード、太陽光発電設備 | |
| 諸室等 | 選手ロッカー室、シャワー室、選手用トイレ男女、ダッグアウト、屋内ブルペン、屋内野球練習場、関係者室、会議室 他 | |
| 災害時の防災機能 | フィールド：消防機関の活動拠点 屋内野球練習場：救援物資等の市集積場所 | |

